

「節分」豆まき・恵方巻

2025年の恵方は西南西やや西!

系でんわ

【発行】

リハビリセンター
グリーンTAOKA
広報委員会

徳島市川内町
北原31-3
088-678-5555



第314号



今年の節分は2月2日の日曜日でしたが、当施設では通所のご利用者様にも楽しんで頂ける様に、2月3日の月曜日に行事を開催しました。さて節分といえば、豆まきや恵方巻が定番ですよ。恵方巻の云われは諸説ありますが、始まりは江戸、明治時代と云われており、主に関西地方での行事食でありましたが、次第に全国へ広まったと云われております。

この日のメニューは丸ごと1本の太巻き!ではありませんでしたが、巻き寿司と季節の野菜に、菜の花のお浸しと、節分汁(だいず、こんにゃく、人参、ねぎの味噌汁)をご用意しました。普段の寿司メニューではばら寿司が多いため、海苔で巻いたお寿司は目新しくお召し上がり頂けたのではないかと考えております。

今年の恵方は西南西やや西との事で、社員食堂にも恵方の方向を貼らせて頂きました。



残念ながら、おやつは節分豆ではありませんでしたが、少しでも季節の雰囲気味わってもらいたいと考えて、代わりに卵ボーロを出させて頂きました。「美味しかった」「もう一つおかわりが欲しい」とご利用者様にも好評でした。

節分行事を通して季節を感じて頂き、ご満足いただけたようで嬉しく思っております。今後もより良い行事を開催できるように企画を考えていきますので、宜しくお願い致します。

(管理栄養士 竹野有希子)



大寒を迎えて寒さも一段と強くなっておりますが、リハビリセンターグリーンTAOKAでは毎年恒例の豆まきを2月3日の月曜日開催致しました。

豆まきは各階で鬼に扮した職員が登場して行い、ご利用者様に豆を模した卵ボーロを鬼に投げて楽しんで頂きました。

ご利用者様も鬼の登場に、はじめはびっくりされる方もいらっしゃいましたが、鬼がご利用者様に向かって行くと、それをめがけてご利用者様が「鬼は外!福は内!」と元気よく大きな声で豆をぶつけていました。勢いよく豆をぶつけられた鬼は慌てふためき「参った、参った降参!」と尻もちをついてしまい、それを見ただご利用者様からはたくさん笑い声が溢れていました。

ご利用者様からは「良かったな、昔を思い出した」等の声が聞かれ、大変喜ばれていました。

節分は季節の変わり目に豆をまくことで邪気を払って福を招く行事とされていますので、ご利用者様が一年無病息災である事をお祈りし、これからも季節感を感じて頂ける行事を職員一同考えていきますので、宜しくお願い致します。

(介護部 大平雅資)

働き方改革モデル福祉事業所

当施設が「令和6年度徳島県働き方改革モデル福祉事業所」に認定いただき、1月30日に県庁にて認定書の交付式が執り行われました。尚今年度は7法人25事業所が対象となり表彰を受けました。

「働き方改革モデル福祉事業所認定制度」とは、働き方改革や特色ある



働き方の導入を進める事業所をモデル事業所として認定しており、福祉・介護分野における人材不足解消に向け、人材確保に向けた取り組みを支援する、という制度です。

今回、当施設の①職員の不安や不満などの相談窓口の整備、②詳細なキャリアパス制度に基づく人材育成計画の2点の特筆すべき事項として評価を受け認定をいただくこととなりましたが、他法人様の表彰では、特色ある手当の充実、自己研鑽の助成制度、積極的な電子機器の導入、

副業制度の導入などの取り組みが評価されていました。

今回の申請に際して、職員の働き方についての評価項目が挙げられており、働き方の多様性や業務の効率化、待遇面など、多角的に事業運営を見直す良い機会となりました。

今後、利用者様へより良いサービスの提供はもちろん、働き方改革モデル福祉事業所として、職員にとっても働きやすい職場づくりを目指して一層精進して参ります。

(事務部 山口晃史)



認定証交付式



中川施設長と吉本事務長

レクリエーション

リハビリセンターグリーンTAOKAでは午後からはありますが、集団レクリエーションをさせて頂いております。

レクリエーションの種類も様々であり、かるた・百人一首・トランプ等のカードゲームもしております。

レクリエーション中は、ご利用者様の真剣な表情や笑顔も見られており、楽しみながら脳トレを行って頂いております。認知機能の向上が期待できるため、今後も継続してご参加頂けるよう工夫して参ります。

(看護部 矢野早苗)



トランプの様子



通所だより

皆様、今年の年末年始は晴天続きだったので、とても穏やかなお正月を迎えられたのではないのでしょうか。さて、通所リハビリでは例年通り小正月までに新年の抱負や好きな言葉を書初めして頂きました。

皆様も初めは「筆や何十年も持ったことない」「最近字を書く機会が少なくて書けるかなあ?」と心配さ



S様による書初めの様子

れていましたが、筆を持つと真剣な面持ちで半紙に向かわれていました。書かれた文字には「新春」「正月」の字から「唄おうね」「猫好き」「新酒」等の言葉がありました。ちなみに当通所の最年長、百歳のご利用者様(写真上)が選んで書いて下さったのは「祝」でした。

(通所リハビリ 松浦業里)



F様による書初めの様子



【施設の予定】

- 2月6・7日 通所・おやつレク
- 2月14日 バレンタインデー
- 2月28日 ぱん小屋れもん
- 3月3日 ひな祭り (行事食)

